

全体構想

学校教育目標

豊かな学力と心豊かでたくましい社会性を身に付けた生徒の育成
自他共栄～互いに高めあう学校づくり～

生徒の実態①（学力調査の結果より）

- ・基礎基本の定着が不十分である。
- ・自分の考えを記述する問題では、無回答率が多い。
- ・出題者の意図に応じて、的確に記述、表現する力が不足している。
- ・長文を最後まで読み切る、または書き切る力が不足している。
- ・無回答率が目立つのは記述式の設問で目立つ。
- ・学校から出る課題以上の学習に、なかなか取り組めていない。

生徒の実態②

- ・授業は大切だと思っている生徒は、全体の80%～90%である。
- ・授業は大切だと思っている意識はあるものの、その教科を好きになれないと考えている生徒が一部にいる。
- ・自分で考えて学習に取り組むことが苦手、または学習に対して無力性の生徒がいる。
- ・自分の考えを表現したり、発表したり話し合ったりすることに対しての肯定的評価が低い。

研究主題

考え方、高め合い、表現する生徒の育成

～見通しと自己決定の場を通して～

研究の重点

- ① 単元の導入等で、生徒自身が見通しをもてるような活動（追究意欲をもたす工夫）を取り入れる。
- ② 生徒自身が「自分の考え方」をもつ（自己決定の）場を取り入れる。

一人一人の生徒を、全教科で育てる

国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保育	技・家	英語	特支
----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----

校内研修会（全体会）

教科部会（年に10回程度実施）

- ・学校研究の重点項目における共通理解
- ・学力調査等の採点→分析→検証
- ・学力向上プランの作成→分析→検証
- ・10点アップ問題の吟味→分析→検証
- ・家庭学習の内容に関する指導

学年会

- ・学年の学習指担当からの提案をもとに、学年の実態に応じた学力向上や家庭学習の充実、テスト対策などの取り組みについて検討および実践
- ・10点アップ問題等の学習に関する掲示
→学習環境の充実

土台：褒め・認めの言葉がけ&授業規律（生徒指導：人間関係づくり）